

報道関係各位

在京民放5社によるテレビ視聴データの技術検証・運用実証実験について

日本テレビ放送網株式会社
 株式会社テレビ朝日
 株式会社TBSテレビ
 株式会社テレビ東京
 株式会社フジテレビジョン

在京民間放送局5社（日本テレビ放送網株式会社、株式会社テレビ朝日、株式会社TBSテレビ、株式会社テレビ東京、株式会社フジテレビジョン、以下、民放5社）は、2019年12月から2020年2月にかけて、関東地区のインターネットに接続されているテレビを対象に、各社個別に収集している視聴データ（視聴中のチャンネル情報や番組の視聴時刻情報などで、個人情報を含まない）を民放5社で集約する共同技術検証および運用の実証実験を実施いたします。

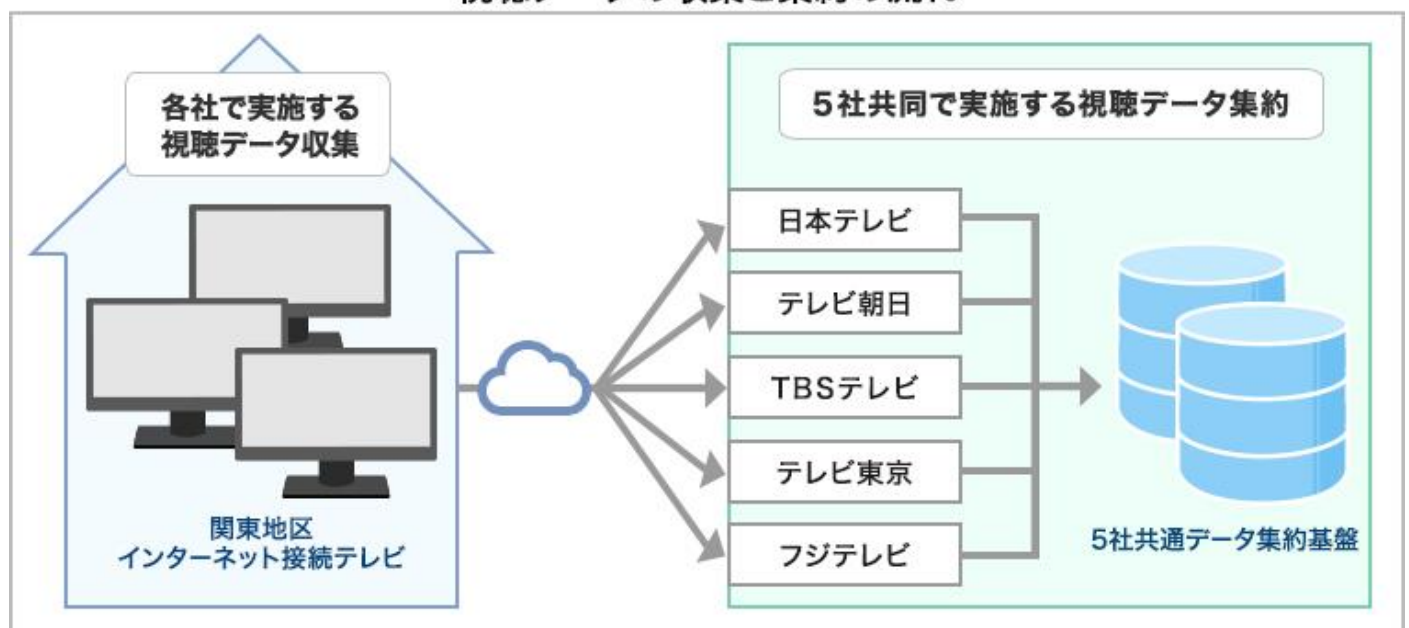
本実証実験の目的は以下の通りです。

- 一、データの収集・集約に必要な技術仕様の標準化、プラットフォームの技術検証
- 一、放送サービスの向上や、より良い番組制作に役立てるための視聴状況の調査・分析
- 一、視聴者の安全・安心を確保するため、さらに必要な事項の検討
- 一、視聴データをリマーケティング(広告等)などに応用する可能性についての机上検討（この実験で視聴データを広告等に実際に活用することはありません）
- 一、災害対策など公共性が高いサービスへの視聴データ利活用の検討

なお、本実験は、2019年11月6日に民放5社が発表したプレスリリース『在京民放5社による放送の同時帯同時配信に関する技術実証について』に記載の通り、総務省から株式会社野村総合研究所への委託調査研究の一環として行うもので、野村総合研究所が設置した有識者によるアドバイザリーボード(※)の助言を受けつつ実施しています。

※アドバイザリーボード：視聴者のプライバシー保護の観点から、法制度や情報工学の専門家、消費者代表の適切な助言を受けるために設置された第三者機関です。

視聴データの収集と集約の流れ



テレビ視聴データに関する実証実験 概要

■実験期間 : 2019年12月18日～12月20日(技術テスト)

2020年1月14日～2月4日

※上記の期間中であっても、一部の番組又は一部の機器については視聴データを収集しません。

■実証実験で取り扱う視聴データ:(関東地区のインターネットに接続されているテレビ受信機が対象)

- ・視聴中の民放5社のチャンネル情報
- ・番組の視聴時刻情報
- ・IPアドレス
- ・対象受信機に設定されている郵便番号
- ・テレビ受信機を識別するための情報

(本実証実験で民放5社が同一テレビ受信機を一意に識別するために、共同で発行する共通ID)

実証実験で取り扱う視聴データは、特定の個人を識別できる情報を含んでいません。加えて、データ処理過程で個人を特定できないようにする措置をとっています。データは適切な安全管理措置のもとで国内のサーバーに保存し、2021年3月31日までに全て消去いたします。

■視聴データの利用目的:

- ・データの収集・集約に必要な技術仕様の標準化やプラットフォームの技術検証
- ・放送サービスの向上やより良い番組制作に役立てるための視聴状況の調査・分析
- ・視聴者の安全・安心を確保するため、さらに必要な事項の検討
- ・視聴データをリマーケティング(広告等)などに応用する可能性についての机上検討(この実験で視聴データを広告等に実際に活用することはありません)
- ・災害対策など公共性が高いサービスへの視聴データ利活用の検討

■視聴データの集約を停止したい場合:

実証実験期間中、民放5社のいずれかの放送中にデータ放送画面を表示し、5社共通の実証実験告知ページへ遷移するボタンを押して遷移先の実証実験告知画面で表示される「協力しない」ボタンを押してください。詳しくは、民放5社共同実験ホームページをご覧ください。

■民放5社共同実験ホームページ: <http://www.tv-viewing-log.info/2019/>